

広報

鳥海の里

題字 理事長 佐藤牧生

第101号

発行 秋田県心身障害者コロニー
◆平成11年1月25日 保護者会

秋田県由利郡西目町出戸字孫七山
TEL (0184) 33-2255 FAX (0184) 33-2044

迎春



コロニーから日本海を望む

主な内容

- ・年頭のあいさつ 2
- ・新年にトライ 3
- ・ふれあい文化祭ほか行事から 4~5
- ・リサイクル活動他 6
- ・通信プラザ～開成指導編～ 7
- ・ニュース他 8



干支土鉢（窯業科制作）



年頭にあたつて

秋田県社会福祉事業団

理事長 佐藤牧生

新年あけましておめでとうござい
ます。二十一世紀の幕開けまで残す
ところ二年となりました。一九〇〇
年代最後の年の始年に当たり、皆様
の益々の御健勝と御発展をお祈り申
し上げます。

コロニーは平成四年から居住棟を
はじめ各施設の全面改築を行つてき
ましたが、本年管理棟の建設をもつ
て全て完了することになりました。
実に七年の歳月と総事業費一三〇億
円を超える大事業であり、県をはじめ
関係者の皆様に改めて心から感謝
申し上げます。

近年、社会福祉に対する国民意識
が変化してきております。戦後もない
時期につくられた現行の制度
は、五十年間その基本的枠組みを維
持してきましたが、いろいろな面で
制度疲労をきたしており、このため
社会福祉の基礎構造を抜本的に改革
するというのが最大の理由だと思
います。国では、今年中に社会福祉事
業法を改正する意向であり、また平
成十二年四月には介護保険制度が実
じんできた行政による「措置」から
サービスを利用する方々の「契約」
が何よりも重要であると考
えております。

今年もよろしくお願ひし
ます。

(選択)」に委ねるという、
いわばサービスの利用者と
提供者との間に対等な関係
を確立することになります。
そうなりますと、福祉
の分野にも多種多様な事業
主体の人が予想され、当然
競争原理、市場原理が導
入され、経営の効率性が強
く求められることになります。

事業団としてはこうした
動きに適切に対応し、今後
とも設置者である県の福祉
政策において、必要とされ
る事業団であらねばなりません。

そのためには、質の高い
サービスを効率的に提供す
ることが基本となります。
で、より一層処遇技術の向
上やノウハウの開発に努め
る必要があります。そして
高度な専門性や先駆性、公
共性といった事業団のもつ
特色を十分に發揮すること
が何よりも重要であると考
えております。

明けましておめでとうござ
います。一九九九年を迎
え、皆様のご健康とご多幸
をお祈りいたします。

いよいよ、西暦二〇〇〇
年が近づいてまいりました。
私達保護者会は、全国、
全県の組織の中で情報を得、
会員の声を伝える役目
を持つております。

本年の全国大会の中か
ら、次の二点を紹介いたし
ます。

一、四月一日から、「精薄」
という用語が消え「知
的障害」という用語に
なります。(国会で承認)
二、親の発言で、胸にきた
ことばは、「一番大切
なのは、施設にいる子
供自身の生きがいだ」
であった。

さて、コロニーの改革大
事業も着々と進行し、検討
に検討を重ねた成果が次第
に姿を表わしてまいります。
いよいよ完了の段階です。

私達家族にとつては、感謝のこと
ばかりありません。総会で申し上げ
たように、全て完了した姿を見て、
私達保護者で何ができるか皆で考
みたいと思います。

私達の子、家族の幸せのために、
保護者の皆様のご理解・ご協力のほ
どを心からお願い申し上げます。

どこの大会でも「親亡きあと」の
部会が他の部会の何倍も多く集まり
ます。それが皆、親なのです。
ご兄弟で保護者になつておられる
方々は、この親の子を思う切ないば
かりの気持ちを考えていただけは
と思つております。

私は月二回、入所者とフォーカダ
ンスを楽しんでいますが、彼等の
生きがいの一つになるのか、ならな
いのか…………?

コロニーの職員、先生方、本年も
よろしくお願い致します。

県当局、事業団の皆様、地域の皆
様方にはいつも温かく御指導、おつ
きあいをいただきありがとうございます。

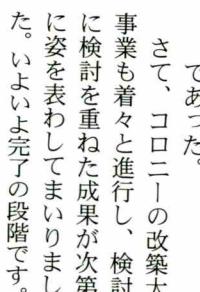
本年もよろしくお願い申し上げま
す。



新年にあたつて

コロニー保護者会

会長 佐志義友



明けましておめでとうござ
います。私達家族にとつては、感謝のこと
ばかりありません。総会で申し上げ
たように、全て完了した姿を見て、
私達保護者で何ができるか皆で考
みたいと思います。

私達の子、家族の幸せのために、
保護者の皆様のご理解・ご協力のほ
どを心からお願い申し上げます。

どこの大会でも「親亡きあと」の
部会が他の部会の何倍も多く集まり
ます。それが皆、親なのです。
ご兄弟で保護者になつておられる
方々は、この親の子を思う切ないば
かりの気持ちを考えていただけは
と思つております。

私は月二回、入所者とフォーカダ
ンスを楽しんでいますが、彼等の
生きがいの一つになるのか、ならな
いのか…………?

コロニーの職員、先生方、本年も
よろしくお願い致します。

県当局、事業団の皆様、地域の皆
様方にはいつも温かく御指導、おつ
きあいをいただきありがとうござ
います。

本年もよろしくお願い申し上げま
す。

仕事の面では、社会人二年目となり、おかげ様で仕事も覚えてきましたがまだ決まつた業務をこなすことで精一杯という状況です。

昨年は今までの人生の中で、最も早く過ぎていった一年でした。日々の生活を反芻する間もなく時間だけが怒涛のように過ぎてしましました。そこで、「一日一日を大切にし、熟考する」事を新年の抱負と致します。

私は、農林課の果樹でがんばりました。今年は今までの人生の中でも、最も早く過ぎていった一年でした。日々の生活を反芻する間もなく時間だけが怒涛のように過ぎてしましました。そこで、「一日一日を大切にし、熟考する」事を新年の抱負と致します。

私は、農林課の果樹でがんばりました。今年は今までの人生の中でも、最も早く過ぎていった一年でした。日々の生活を反芻する間もなく時間だけが怒涛のように過ぎてしましました。そこで、「一日一日を大切にし、熟考する」事を新年の抱負と致します。



田 森 陽 子
昭和五十年生まれ
総務課

新年にトライ!
21世紀へ
ホップステップジャパン

A Q 果物はやっぱりバナナが一番。
寮での過ごし方は。
A Q 新聞を見たり、音楽を聴いたり、
テレビを見たり。特に刑事のド
ラマが好きです。音楽は演歌の
八代亜紀をよく聴きますが、今
は「ビーズ」にこつてます。
A Q 「年男」としての抱負を。
病気をしない様に。仕事をもつ
と頑張りたいです。

A Q 昭和二十六年生まれ
白光・かつら寮
土田鉄三
寮ではどんな仕事をしていますか。
A Q ポリパックを五つ数えてゴムで
留めています。
A Q 食べ物では何が好き?
A Q ラーメン(しょうゆ味)が好き。
A Q 果物はやっぱりバナナが一番。
寮での過ごし方は。

ですから、私生活の充実には程遠い毎日ですが、最近キーボードを始めました。かなりのブランクがあり思るようにひけなくなっていますが、早く上手くひけるよう練習します。

皆さんに披露できる日が来ることを信じて……?

昭和二十六年生まれ
白光・かつら寮
土田鉄三
大正四年生まれ
創生・つつじ寮

加藤健蔵
昭和二十六年生まれ
大正四年生まれ
創生・つつじ寮

赤光指導課
昭和三十八年生まれ
高橋浩文
昭和二十四年生まれ
開成・あやめ寮
A Q 「まだ花っこ見に行ぎでない。
あつたけぐなつたらな。ビール
ど団子つこ食べでや。あー、は
えぐあつたけぐなんねがな。」
と春が待ちきれない様子。もちろん
抱負は「元気に過ごす」です。

A Q 何か楽しみにしていることは?
A Q 「まだ花っこ見に行ぎでない。
あつたけぐなつたらな。ビール
ど団子つこ食べでや。あー、は
えぐあつたけぐなんねがな。」
と春が待ちきれない様子。もちろん
抱負は「元気に過ごす」です。

昭和三十八年生まれ
赤光指導課

高橋浩文
昭和二十四年生まれ
開成・あやめ寮
A Q 私の趣味はスポーツである。
女房に言わせれば「私はスポーツ
未亡人」。そういうえい休みのたびに、
バレー・ボールの練習、試合をしてい
たつけ。無理もない。でも女房殿は
付け加えてくれる。「バレーをして
いる時は、タバコも吸わないし、酒
も飲まない。体にはいいんじゃない
い。」

私の趣味はスポーツである。
女房に言わせれば「私はスポーツ
未亡人」。そういうえい休みのたびに、
バレー・ボールの練習、試合をしてい
たつけ。無理もない。でも女房殿は
付け加えてくれる。「バレーをして
いる時は、タバコも吸わないし、酒
も飲まない。体にはいいんじゃない
い。」

私の体を心配してくれているよう
で、暗にタバコの量・酒の量を減ら
せとのお達しかもしれない。

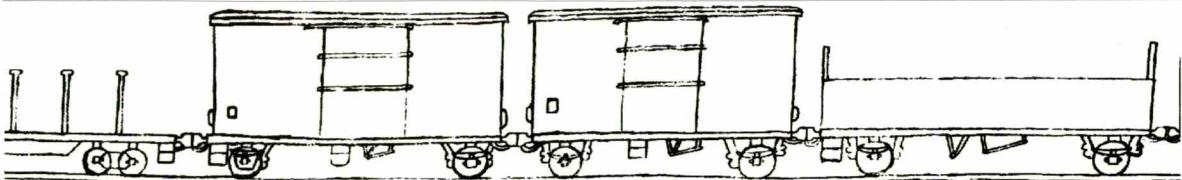
長女もバレーの道に進み、家族皆
が応援に参加している。私の思惑ど
おり、わが家はバレー一家になつた
のだ。

私の体を心配してくれているよう
で、暗にタバコの量・酒の量を減ら
せとのお達しかもしれない。

人生においてもこれが自分流で自
分らしい生き方のようと思う。流れ
るままに、その時その時代を大切に
四十年、五十年らしく生きたい。

佐藤覚内
昭和二十六年生まれ
銀杏指導課

私は、バレーは人生であり、
一緒にボールを追つて走る仲間は何
物にも変えられない。今年もそれ以
降も家族と共に体の続く限りバレー
を続けて行きたいと思っています。
女房殿へ・・二人で遊びに行くの
はもうちょっと待つていてくれ。



ふれあい文化祭

10/28

▲保護者会長賞を受賞した越後谷久雄さんの作品です。
定規を使わず10mにわたって見事に書きあげました。



杵って結構おもたいね。



自慢の作品が勢ぞろい。



管理者賞を受賞した田口リエさんの作品。
県総合福祉展では金賞を受賞しました。

ペットボトルの再利用
グットアイデア！

すばらしい作品でした。おめでとう！
(佐志会長より)

収穫感謝祭の ひとコマ

11/13



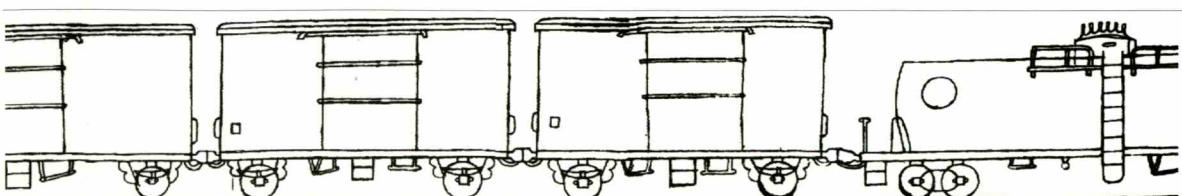
新山民謡同好会の皆さんか、唄と
踊りを披露してくれました

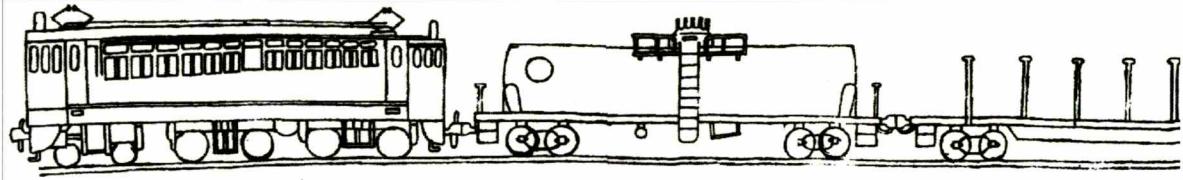


豊作に感謝！！



りんご狩りもできました。

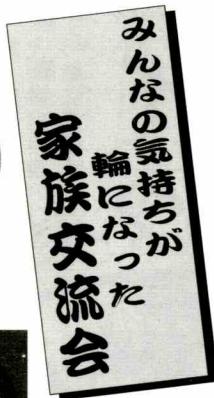




一年間ありがとう。またよろしくね。



気分も料理も最高！



四日に本庄グランデホテルにおいて、盛大に行われました。入所者三十八名と二十家族三十名が、ホテルでの会食、余興等で楽しみました。入所者の皆さんは家族と一緒にせいいか、表情も穏やかのように感じられました。

会食では、家庭等の事情で盆・正月帰省できない入所者が、家族と談笑しながら食べさせてもらっている姿もありました。余興ではビンゴゲーム、父兄のカラオケ、入所者の歌も飛び出し、最後は恒例のフォークダンスと、全員で輪になつて西目音頭を踊りました。

最後の保護者の方のあいさつでは、このような食事会ができることをとても喜んでくれている様子が伝わってきてうれしく思いました。

また、保護者の方同士が、「また会おうな」と挨拶している様子が、とても印象に残りました。

十二円に入ると、"飲み方いつだ"の声があちこちで聞かれます。そして今日、十一月十日は待ちに待った楽しみ会です。会場の華やかな雰囲気に、少し緊張しながら席に着き、美しい器にきれいに盛りつけられたお料理を頂きました。中には、フォークやナイフを上手に使いこなす人もおり感心しました。そして、みんなの大好きなカラオケ。皆の熱唱はいつもながらの光景ですが、今回は、職員による飛び入りでデュエットも加わり、大いに盛り上がりました。

その後は、お楽しみのプレゼント。輪投げで、お皿当品を獲得するという趣向。皆、大物狙いで目が真剣。さつそく中身を披露し合うと、あちこちで歓声があがっていました。

**飲んで！歌って！
年末恒例楽しみ会**

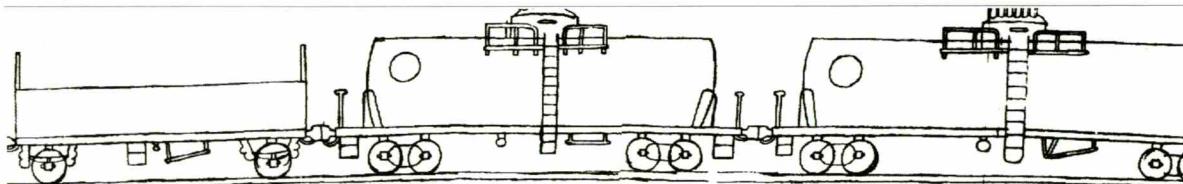
みんなで楽しく和やかに

**赤光指導課
すみれ・こぶし寮**

楽しいを定めて
賞品獲得

みんなで楽しむ会

楽しいを定めて
賞品獲得



ゴミ処理問題や環境保護は今や社会問題となっています。その一環として「リサイクル」運動の気運が年々高まっています。コロニーも例外ではありません。施設内に五百人の入所者が暮らし、それにともなう職員の数からして、大量のゴミが出ることは容易に想像できます。

以前、缶ジュースのプルタブをとり、それを大量に集めることにより、車イスと交換できる話がありました。いつの頃からかコロニーでも入所者がプルタブを集めるようになり、職員の子供を介して、小学校に寄付しています。

現在リサイクルは、入所者の作業のひとつとして定着しています。特に高齢者にとって

は作業内容がハードすぎず、比較的誰でも取り組みやすいようです。

リサイクル作業のメインは、缶ジュースなどの空き缶つぶしです。これは空き缶を洗い、スチール缶とアルミ製に分別、足踏み式の機械でつぶすというもので、これに最近、電動式の缶つぶし機が導入されたので、より効率が上がると期待しています。

この他にも、ダンボールや古新聞、古雑誌の収集を行っており、これらの作業は入所者の生活の生きがいとなっている感さえあります。

リサイクルで得た収益は、年度末の入所者の慰労を目的とした会に還元しています。働く喜び、収益を得ることができ環境保護にも役立つリサイクルはまさに一石三利、これらも継続されていくことでしょう。

リ

サ

イ

ク

ル

活 動



缶を入れて、足で踏めばアラペったんこ



ダンボールの回収に、今日も園内
グルリ一周。行ってきまーす。

缶を入れるだけ!
これは楽ちん。

事業所見学(白光指導課)

秋田基準寝具(株)土崎工場

十二月二日、白光指導課作業班所属の入所者十五名は、労働の意味と作業意欲の向上を目指した学習の場として、秋田市の「秋田基準寝具(株)土崎工場」を見学しました。

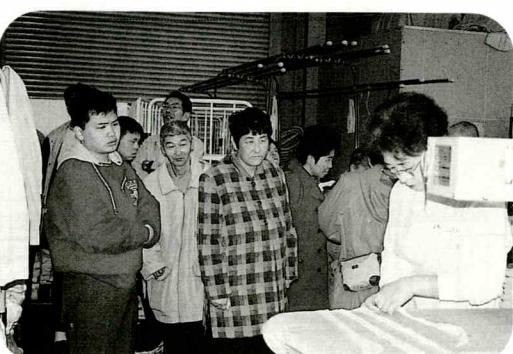
ここは企業ぐるみで障害者を理解し、雇用している事業所です。

従業員の方々の温かい出迎えを受けた後、営業課長さんから工場内を案内していただきました。

私たちが見学した作業場では、十五名の知的障害者(二十代~三十代)の方々が女子社員一名の方から指導を受けながら働いていました。

仕事の内容は、県内の大規模病院で使用している基準寝具類のクリーニングです。流れ作業の工程の中、

十五名の方々は仕分けたたみ、梱包の仕事を任せ、その熱心に取り組んでいる姿はとても印象的でした。



作業の様子を見る目が真剣

最後に、営業課長さんが、「知的障害者の方達は、多少の風邪でも休まず一生懸命仕事に取り組み、まじめで社内での評判も大変良いです。また、社内行事には必ず参加してもらい、社員とのコミュニケーションをとるようにしています」と話してくださいました。

今回事業所を見学した入所者にとって、仲間が社会で働いている姿は、作業意欲を一層かき立ててくれたのではないかと、彼らの生き生きとした表情を見て感じてきました。

開成指導課は、百名構成から平成七年四月より授産五十名、更生五十名に分かれています。

授産には編み物科、縫製科、木工科、窯業科があり、五十名全員が、各自の希望、適性を考慮してそれぞれの職場に所属しています。

編み物科の軍手は県内有数の生産を誇り、良質で廉価な製品は需要が多く注文が絶えません。

縫製科は昨今の不況にもかかわらず、Tシャツ・トレーナー等で売上げを伸ばしています。

木工科は使い心地のよいまな板、子供にも人気のあるパズルは生産が追いつかないくらいです。

窯業科は土鉢、陶器等の製作の他に陶芸教室を開いております。

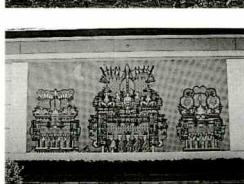
幼稚園児から高齢の方まで幅広く訪れ、茶碗、花瓶など手作りを楽しんで行かれます。今年度は既に陶芸教室を十回開きました。

その他園芸、畑作、果樹、養鶏、給食、銀杏重慶棟で働いており、それぞれの職場の信頼に応えています。

生産も楽しいですが、何と言つても自分たちの作った製品を販売するのも楽しみです。今年の即売は十回を数えました。それが仕事への意欲、励みとなっています。



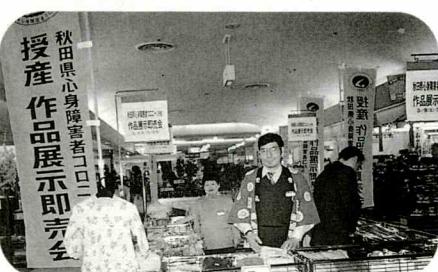
みんなで協力して食堂清掃。あっという間です。



秋田県地図のパズル作り(木工科)



西目幼稚園の陶芸教室（窯業科）



製品が売れる一時は最高の気分です。



みんなのアイドル“クロ”で～す（更生棟）

授産棟

更生棟

更生は男子二十四名、女子二十六名が利用しています。平均年齢は高いですが授産、農林、創生課などで元気に働いている人もおります。日々の生活に潤いを持たせ、健康の維持、増進を図るために外出の機会を多くし、日課はゆとりを持って過ごせるよう配慮しています。誕生日の温泉めぐり、最近では菊人形まつり、ボーリング、総合福祉展などに行っています。

三月から迷子の犬（クロ）が住みつき、利用者になついています。町に予防注射も済ませ晴れて一住民となっています。一緒に散歩したい触れ合うことで利用者の心身の安寧に繋がっているようです。

又、山菜採り、カゴ作り、刺し子など相当の腕前の人もいます。田口リ工さんの刺し子は総合福祉展で今賞に輝きました。

収穫の喜びもつかの間……11月のドカ雪による被害



ふじの収穫本番を目前に、りんごの木が倒れ、畠の野菜も雪にすっぽり。



車も窓しか見えません。

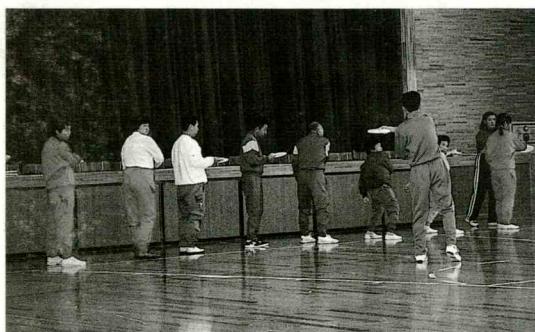


施設内の赤松もこのとおり

二
ユ
ー
ス

県手をつなぐ育成会主催、知的障害者スポーツ教室が開催されました。(本荘・由利地区)

11/13 コロニー体育馆



銀杏指導課

立原雅哉さんが、6ヶ月間の自活訓練を終え、水林通勤寮へ旅立って行きました。頑張れ!!



フライングディスクアキラシの腕前もアツバ!



保護者会先進地視察研修旅行

新潟県日田温泉
10/30～10/31

10/30～10/31

10/31

これから行事予定	
研究発表会	二月二十四日
雪上レクリエーション	
スキー教室	

入所者の動き

『入所』
銀杏指導課からまつ寮

十一月一日付

櫻山 一彦さん (象潟町出身)

渡部 秀義さん (本荘市出身)
開成指導課かえで寮

十二月一日付

今野 正幸さん (鳥海町出身)

『異動』

杉沢享史さん(銀杏指導課→赤光指導課)
高橋正巳さん(白光指導課→銀杏指導課)
樋口義晴さん(開成指導課→赤光指導課)

仁賀保町 金子 潔様
雄物川町 加賀 雲峰様
佐野 七、〇〇〇円
佐野 元様 二〇〇、〇〇〇円

仁賀保町 金子 潔様
佐野 七、〇〇〇円
佐野 元様 二〇〇、〇〇〇円

ご冥福をお祈り致します
けやき寮 金子明広さん(十一月十八日)
からまつ寮 野呂光広さん(十一月二十六日)
さざんか寮 佐野セチさん(一月二日)
あかしや寮 伊藤省吾さん(一月三日)
すずらん寮 佐藤秋子さんの母マサ子さん
かつら寮 重雄さん
あやめ寮 小野キヨエさんの保護者喜一郎さん